

| | | | |
|---|---|--|--|
| X 線, ガンマ線, 微粒子線または粒子衝撃に対する防護; 放射能汚染物質の処理; そのための汚染除去装置 (薬物手段による放射線防護 A61K8/00, A61Q17/04; 宇宙船内のもの B64G1/54; 原子炉と結合したもの G21C11/00; X 線管と結合したもの H01J35/16; X 線装置と結合したもの H05G1/02) | | | |
| | ファセット分類記号 適用範囲 (9/00~9/36) 沸騰水型原子炉 [BWR] ・ 新型沸騰水型原子炉 [ABWR] 高速増殖炉 [FBR] 軽水炉 [LWR] 加圧水型原子炉 [PWR] ガス冷却炉 ・ 高温ガス炉 [HTGR] ・ ・ ペブルベッド型 自然循環型原子炉 | | |
| 1/00 | 材料の組成に特徴のある遮へい | | |
| 1/02 | ・ 均質遮へい材の選択 | | |
| 1/04 | ・ ・ コンクリート; 他の水硬性材料 | | |
| 1/06 | ・ ・ セラミック; ガラス; 耐火物質 (サーメット G21F1/08) | | |
| 1/08 | ・ ・ 金属; 合金; サーメット, すなわちセラミックと金属との混合焼結体 | | |
| 1/10 | ・ ・ 有機物質; 有機担体中に分散するもの | | |
| 1/12 | ・ 薄板状遮へい材料 | | |
| 3/00 | 物理的形態に特徴のある遮へい, 例. 細粒, または材料の形状に特徴のある遮へい | | |
| E | 粒状物または液状物を出入れする構造のもの | | |
| F | 変形可能なもの | | |
| G | ・ シート状のもの | | |
| L | 迷路構造のもの | | |
| M | 鉛毛または鉛繊維状のもの | | |
| N | 中性子遮蔽用のもの | | |
| P | 配管等の貫通孔におけるもの | | |
| S | ついたて, 扉 | | |
| T | 配管におけるもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 3/02 | ・ 衣服 | | |
| A | 衣服 | | |
| B | ・ 布地に特徴を有するもの | | |
| Z | その他 | | |
| 3/025 | ・ ・ 着用する人を完全に覆う衣服 [5] | | |
| 3/03 | ・ ・ エプロン [5] | | |
| 3/035 | ・ ・ グローブ (グローブボックスへの取り付け手段 G21F7/053) [5] | | |
| 3/04 | ・ ブロック; ブロックよりなる遮へい | | |
| 5/00 | 輸送または持運び可能な遮へい容器 | | |
| K | 製造方法に関するもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 5/002 | ・ 液体放射性廃棄物用の容器 [5] | | |
| 5/005 | ・ 固体放射性廃棄物用の容器, 例. 最終処分用 [5] | | |
| 5/008 | ・ ・ 燃料要素用の容器 [5] | | |
| 5/012 | ・ ・ ・ 容器内の燃料要素ラック [5] | | |
| 5/015 | ・ 放射線源を格納するためのもの, 例. 放射線照射装置のための放射線源運搬装置; 放射性同位体の容器 [5] | | |
| 5/018 | ・ ・ シリンジの遮蔽体または支持体 (放射性物質の人体への適用のためのシリンジの遮蔽 A61M36/08) [5] | | |
| 5/02 | ・ 容器内の放射線源を制限して露出させる手段を有するもの | | |
| 5/04 | ・ ・ 露出を制御する手段, 例. 時間, 開口の大きさ (X 線への露出制御 H05G1/00) | | |
| 5/06 | ・ 容器の細部または付属品 [5] | | |
| G | 放射性物質による汚染を防止するための手段を有するもの | | |
| M | 火災時の対応構造に特徴のあるもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 5/08 | ・ ・ 衝撃吸収装置, 例. 容器のための衝撃緩衝装置 [5] | | |
| 5/10 | ・ ・ 熱除去システム, 例. 循環流体または冷却フィンを用いるもの [5] | | |
| N | 冷却手段に関するもの | | |
| P | ・ 冷却フィンに関するもの | | |
| Q | ドレンまたはベント構造に関するもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 5/12 | ・ ・ 容器のための閉鎖装置; 密封装置 [5] | | |
| D | シール構造に特徴のあるもの | | |
| E | ・ 漏洩監視, 試験装置を有するもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 5/14 | ・ ・ 容器または SHIPPING キヤスクを取り扱うための装置, 例. 輸送装置 [5] | | |
| H | 容器等の取扱手段に関するもの | | |
| T | 容器等の輸送手段に関するもの | | |
| Z | その他のもの | | |
| 7/00 | 遮蔽されたセルまたは部屋 | | |
| C | 円筒形状のもの | | |
| K | 組立式のもの | | |
| R | RI 線源貯蔵設備 [容器も含む] | | |
| S | 核シェルター [主分類は E04H9/08] | | |
| Z | その他のもの | | |
| 7/005 | ・ 壁を貫通する遮蔽された通路; 閉鎖装置; 部屋間の移送装置 (グローブボックス間 G21F7/047) [5] | | |
| 7/01 | ・ ・ 流体手段による移送 [5] | | |
| 7/015 | ・ 部屋の雰囲気, 温度または圧力制御装置 [5] | | |
| 7/02 | ・ 観測者を遮蔽するが目視可能な観測装置 | | |
| 7/03 | ・ ・ 窓, 例. 遮蔽されたもの [5] | | |
| 7/04 | ・ 遮蔽されたグローブボックス | | |
| 7/047 | ・ ・ 遮蔽された通路; グローブボックス間の閉鎖または移送手段 [5] | | |

G 2 1 F

7/053 ・ ・ グローブ取り付け手段[5]
 7/06 ・ 遠隔操作装置との組合せ, 例. マニプレータとの組合せ
 M マニピュレータとの組合せに特徴のあるもの
 J 蒸気発生器メンテナンス用
 G ガータ、レール、マスト等を有するもの
 K 壁を貫通して設置されているもの
 R RI 線源の取扱いに関するもの
 Z その他のもの
 9/00 放射性汚染物質の処理; そのための汚染除去装置[2, 5]
 A 付着防止
 B カバーの着脱による汚染防止
 C 塗布による被膜形成
 N 消滅処理
 Z その他のもの
 9/02 ・ 気体の処理[2]
 B 隔膜の利用
 E UF6 の処理
 Z その他のもの
 501 ・ ・ 処理システム
 501 A流量制御の利用
 501 Zその他のもの
 511 ・ ・ 吸着によるもの
 511 A特定成分の吸着処理
 511 C・ヨウ素の吸着処理
 511 D・ ・ NOx 処理を共にこなうもの
 511 E・ ・ NOx 処理に用いる吸着剤及びその取り扱い
 511 F・ ・ NOx 処理に用いる吸着装置
 511 L・希ガスの吸着処理
 511 M・ ・ 希ガスに用いる吸着剤及びその取り扱い
 511 N・ ・ 希ガスに用いる吸着装置
 511 P・水素同位体の吸着処理
 511 S吸着剤及びその取り扱い
 511 T吸着装置
 511 Zその他のもの
 521 ・ ・ 湿式吸収によるもの
 521 A特定成分の湿式吸収処理
 521 B・NOx 及び SOx の湿式吸収処理
 521 Zその他のもの
 531 ・ ・ 低温液化分離によるもの
 531 A希ガスの低温液化分離
 531 Zその他のもの
 541 ・ ・ 再結合によるもの
 541 A触媒及びその取り扱い
 541 B再結合装置
 541 E廃熱を利用するもの
 541 F複数の系をもつもの
 541 G流量を制御するもの
 541 H加熱、冷却に特徴をもつもの

541 Zその他のもの
 551 ・ ・ フィルターの構造及びその取り扱い
 551 Aフィルターの設置
 551 Bフィルターの交換
 551 Cろ過材の充填, 排出
 551 Eフィルターの構造
 551 Zその他のもの
 561 ・ ・ 貯蔵
 561 Aボンベを利用するもの
 561 Bイオン注入を利用するもの
 561 Zその他のもの
 9/04 ・ 液体の処理[2]
 A 移送に関するもの
 B ・ スラリー状のものの移送
 D 液体の状態監視、測定に関するもの
 F ドレンに関するもの
 Z その他のもの
 9/06 ・ ・ 処理方法
 F 加熱脱硝
 G PH 調整
 Z その他のもの
 501 ・ ・ ・ 処理システム全般
 501 A処理システムの制御
 501 B処理システムの監視
 501 Zその他のもの
 511 ・ ・ ・ 半透膜を利用した分離によるもの例.
 逆浸透, 電気透析, 限外濾過
 511 A処理対象液が特定されるもの
 511 B・除染廃液の処理
 511 C・イオン交換樹脂再生廃液の処理
 511 D・非水性液体の処理
 511 E装置構造に特徴
 511 F・中空系膜型濾過装置の利用
 511 G・ ・ その細部に特徴
 511 L逆洗に関するもの
 511 M装置の監視、運転制御
 511 Zその他のもの
 521 ・ ・ ・ 濾過処理
 521 A処理対象液が特定されるもの
 521 B・除染廃液の処理
 521 C・廃棄物貯蔵プール水の循環浄化
 521 E装置構造に特徴
 521 F・ろ過要素の交換を容易、安全化した構造
 521 G・回転力を利用するもの
 521 J濾過助材、プレコート助材を使用するもの
 521 K・助材としてイオン交換樹脂を使用
 521 L・ ・ 原子炉冷却水系の浄化用
 521 M濾材材質に特徴
 521 N逆洗に関するもの
 521 P濾過装置の監視、運転制御
 521 Zその他のもの
 531 ・ ・ ・ 電磁フィルタの利用
 541 ・ ・ ・ 遠心分離, サイクロン分離の利用

- 551 . . . 酸化, 還元剤の利用
- 551 A有機物の湿式酸化分解
- 551 Zその他のもの
- 561 . . . 電解の利用
- 571 . . . 液状金属ナトリウムの処理
- 571 Aナトリウムの不活性化処理
- 571 Cナトリウム中の不純物の除去
- 571 D・吸着、捕獲材の利用
- 571 E・コールドトラップの利用
- 571 F・不純物の除去装置の監視、運転制御
- 571 G・再生に関するもの
- 571 Zその他のもの
- 581 . . . 再処理工程からの廃液処理
- 581 A非水性液体の処理
- 581 C特定方法による処理
- 581 D・加熱による粉粒体化
- 581 E・不溶性成分を生成させるもの
- 581 F・酸化、還元剤の利用
- 581 G・電解を利用
- 581 H・抽出の利用
- 581 J・吸着、イオン交換の利用
- 581 Zその他のもの
- 591 . . . トリチウム水の処理
- 9/08 . . . 蒸発によるもの; 蒸留によるもの
- 501 非水性液体の処理
- 511 蒸発方法に特徴 [501, 531, 541 が優先]
- 511 A特定液体の蒸発方法
- 511 B・含有成分との反応剤を用いた前処理
- 511 D非特定液体の前処理に特徴
- 511 F乾燥状態まで水分蒸発させるもの
- 511 Zその他のもの
- 521 使用装置に特徴 [501, 541 が優先]
- 521 A特殊な蒸発手段を用いる装置
- 521 B・乾燥状態まで水分蒸発させるもの (薄膜型蒸発乾燥器→531)
- 521 C・特殊電気加熱手段 (例. マイクロ波) を用いるもの
- 521 D・多孔質体に含浸させて蒸発するもの
- 521 G補助的装置部分に関するもの
- 521 H・気水分離部に関するもの
- 521 Zその他のもの
- 531 薄膜型蒸発器を使用するもの
- 531 A方法に特徴
- 531 B・被処理液の前処理、予備調整に特徴
- 531 E装置に関するもの
- 531 F・薄膜型蒸発器本体構造に特徴
- 531 H装置の制御、運転方法に特徴
- 531 Zその他のもの
- 541 装置の制御、運転方法に特徴 [531 優先]
- 541 Aそのための装置構造に関するもの
- 541 Zその他のもの
- 9/10 . . . 凝集沈殿によるもの
- A 凝集沈降分離方法に特徴
- B ・特定廃液に関するもの
- C 沈降分離装置に特徴
- E 特定成分を不活性沈殿化して液体から分離するもの
- F ・ハロゲン、無機酸根を不溶性沈殿化して分離 (G 優先)
- G ・U, PU 等アクチノイド元素、セシウムを不溶性沈殿化して分離
- Z その他のもの
- 9/12 . . . 吸収によるもの; 吸着によるもの; イオン交換によるもの
- 501 吸着によるもの
- 501 A使用する吸着剤に特徴
- 501 B・無機系吸着剤の利用
- 501 C・活性炭の利用
- 501 D・チタン系吸着剤に利用
- 501 E・フェライトの利用
- 501 F・ゼオライトの利用
- 501 G・天然鉱物の利用
- 501 J吸着方法に特徴
- 501 K吸着装置構造の特徴
- 501 Zその他のもの
- 511 イオン交換によるもの
- 511 A特定の無機イオン交換体物質の使用
- 511 Zその他のもの
- 512 イオン交換樹脂の利用
- 512 Aイオン交換樹脂の使用方法に特徴
- 512 B・陽イオン交換樹脂の使用
- 512 C・陰イオン交換樹脂の使用
- 512 D・キレート樹脂の使用
- 512 F装置構造に特徴
- 512 G・原子炉冷却水系の浄化装置
- 512 H・プール水の浄化装置
- 512 Jイオン交換樹脂自体に関するもの
- 512 K逆洗・再生に関するもの
- 512 L・クラッドの分離
- 512 M・両性樹脂の相互分離
- 512 N逆洗、再生工程の制御
- 512 Zその他のもの
- 9/14 . . . 焼却によるもの; 加焼, 例. 乾燥, によるもの
- A 有機溶媒に関するもの
- B ・有機溶媒用焼却装置
- D 方法に関するもの [A 優先]
- F 装置に関するもの [B 優先]
- Z その他のもの
- 9/16 . . . 安定な固体媒体に固定する方法
- V 特定の無機-有機重合固化マトリックスによるもの
- Z その他のもの
- 501 特定の固化剤に限定されない方法

- 511 固化マトリックスが無機質であるもの
- 511 A特定の固化結合剤の使用
- 511 B・ケイ酸アルカリの使用
- 511 Zその他のもの
- 521セメントを用いて固化
- 521 A方法に特徴
- 521 B・液状のままでセメント固化
- 521 C・特定成分廃液を前処理して固化
- 521 D・ホウ素含有廃液の固化
- 521 F・セメント、混和材の材質に特徴
- 521 G・養生、硬化工程に特徴
- 521 H使用装置に特徴
- 521 Jインドラムミキシング方式で固化
- 521 Zその他のもの
- 531セラミックス化して固化
- 531 A使用原料の材質、生成物組成に特徴
- 531 Zその他のもの
- 541ガラスにより固化
- 541 A方法に特徴
- 541 B・前処理に特徴
- 541 C・使用原料の材質、生成ガラス組成に特徴
- 541 D・特定成分含有液の処理におけるもの
- 541 F・加水分解ゲル状物を利用するもの
- 541 G・被処理液含浸部材を利用するもの
- 541 J原料のプラントへの供給
- 541 K使用装置に特徴
- 541 L・溶融炉に関するもの
- 541 M・溶融炉からの融液排出に関するもの
- 541 N・オフガス排出部に関するもの
- 541 P装置の監視、運転制御
- 541 Zその他のもの
- 551 固化マトリックスが有機質であるもの
- 561アスファルトを用いて固化
- 561 A方法に特徴
- 561 B・添加剤に特徴
- 561 D装置に特徴
- 561 Zその他のもの
- 571合成樹脂を用いて固化
- 571 A方法に特徴
- 571 B・熱硬化性樹脂の使用
- 571 C・特定の熱硬化性樹脂の使用
- 571 F・熱可塑性樹脂の使用
- 571 G・特定の熱可塑性樹脂の使用
- 571 J装置に特徴
- 571 K・熱可塑性樹脂使用時に用いるもの
- 571 L固化処理時の監視、制御
- 571 Zその他のもの
- 9/18 . . . 生物的方法
- 9/20 . . 液体廃棄物処分
- 9/22 . . . タンクまたは他の容器内での貯蔵によるもの
- A タンク貯蔵
- F . タンクの形状、構造
- G . . 遮へい、臨界防止を考慮したもの
- J . 貯蔵中に加熱または冷却を行なうもの
- K . 貯蔵中の攪拌
- L . . 外部への液体循環による攪拌
- M . タンクからの拔出し、排出に特徴
- P . 貯蔵液面上方に関するもの、例. 蓋、カバーガス
- Q . 貯蔵状態の監視、測定に関するもの
- B . ライニング貯槽
- S . . ライニング貯槽の形状、構造
- T . . ライニング貯槽の施行、形成方法
- C 貯蔵プールの形状、構造
- D 非大型容器の形状、構造
- Z その他のもの
- 9/24 . . . 地中貯蔵によるもの;水中貯蔵によるもの、例. 海洋貯蔵
- 9/26 . . . 水中への稀釈によるもの、例. 海洋、川への稀釈
- 9/28 . 固体の処理[2]
- A 移送に関するもの
- B 粉粒体の移送
- Z その他のもの
- 501 . . 固体表面の汚染除去 [591 優先]
- 501 A除染作業用補助装置
- 501 B・壁面除染作業に使用するもの
- 501 C・分解除染作業に使用するもの
- 501 Zその他のもの
- 511 . . . 特定の除去手段の利用
- 511 A真空吸引によるもの
- 511 B・自走式装置を用いるもの
- 511 C汚染物質の付着塗膜、粘着層のはく離によるもの
- 511 E核燃料の除染
- 511 Zその他のもの
- 521 液体との接触によるもの
- 521 A除染対象が特定されているもの
- 521 B・原子力プラント設備の非分解除染
- 521 C・圧力容器、その内部設備の除染
- 521 D・配管の除染
- 521 E・核燃料の除染
- 521 J・廃棄物処理装置の除染
- 521 Zその他のもの
- 522水噴射の利用
- 522 A除染対象が特定されているもの
- 522 B・原子力プラント設備の非分解除染
- 522 C・圧力容器、その内部設備の除染
- 522 E・核燃料の除染
- 522 F・制御棒駆動装置の除染
- 522 H・タンク大型容器内部の除染
- 522 J・廃棄物処理装置の除染
- 522 Zその他のもの

- 525 化学的除染
- 525 A使用化学物質に特徴
- 525 B・有機物成分に特徴
- 525 D・酸化/還元能を有する成分に特徴
- 525 E・セリウムを含むもの
- 525 G洗濯処理
- 525 Hドライクリーニング処理
- 525 Zその他のもの
- 531 固体粒子の噴射の利用
- 531 A粒子の材質に特徴
- 531 B・氷、ドライアイス
- 531 Zその他のもの
- 541 ブラシの利用
- 541 A除染対象が特定されているもの
- 541 B・原子力プラント設備の非分解除染
- 541 C・圧力容器、その内部設備の除染
- 541 D・壁面の除染
- 541 E・核燃料の除染
- 541 F・制御棒駆動装置の除染
- 541 Zその他のもの
- 551 表面の切削・研磨によるもの
- 551 A溶融状態にして削除
- 551 Zその他のもの
- 561 超音波の利用
- 561 A除染対象が特定されているもの
- 561 B・原子力プラント設備の非分解除染
- 561 E・核燃料の除染
- 561 Zその他のもの
- 571 電解の利用
- 571 A方法に特徴
- 571 B・他の除染手段との併用のみに特徴
- 571 C・交番電解するもの
- 571 D・電解液組成に特徴
- 571 E装置に特徴
- 571 F・除染対象物を陽極とする装置
- 571 J電解除染液の再生の特徴
- 571 Zその他のもの
- 581 ふき取りによる汚染除去
- 581 A連続体状ふき取り部材の使用
- 581 Zその他のもの
- 591 溶融金属、ナトリウム付着汚染物の汚染除去
- 591 A除染方法が特定できるもの
- 591 B・液体と反応
- 591 C・気体と反応
- 591 D・加熱蒸発により除去
- 591 E・機械的にかき取り除去
- 591 F・清浄金属との接触により除去
- 591 Zその他のもの
- 9/30 . . . 処理方法
- S 金属の処理方法
- T 廃原子炉の処理方法
- Z その他のもの
- 101 脱水、乾燥によるもの
- 501 固定化処理
- 501 V特定の無機－有機混合固化マトリックスによるもの
- 501 Zその他のもの
- 511 固化マトリックスが無機質であるもの
- 511 A特定の固化結合剤の使用
- 511 B・ケイ酸アルカリの使用
- 511 Zその他のもの
- 515 セメントを用いて固化
- 515 A方法に特徴
- 515 C・前処理に特徴
- 515 F・セメント、混和材の材質に特徴
- 515 G・養生、硬化工程に特徴
- 515 H使用装置に特徴
- 515 Zその他のもの
- 517 セラミックス化して固化
- 517 A使用原料の材質、生成物組成に特徴
- 517 C使用装置に特徴
- 517 Zその他のもの
- 519 ガラスにより固化
- 519 A方法に特徴
- 519 C・使用原料の材質、生成ガラス組成に特徴
- 519 K使用装置に特徴
- 519 P処理工程の監視、制御
- 519 Zその他のもの
- 521 固化マトリックスが有機質であるもの
- 525 アスファルトを用いて固化
- 525 A方法に特徴
- 525 B・添加剤の材質に特徴
- 525 D使用装置に特徴
- 525 Zその他のもの
- 527 合成樹脂を用いて固化
- 527 A方法に特徴
- 527 B・熱硬化性樹脂の使用
- 527 C・特定の熱硬化性樹脂の使用
- 527 D・不飽和ポリエステル樹脂の使用
- 527 F・熱可塑性樹脂の使用
- 527 G・特定の熱可塑性樹脂の使用
- 527 J使用装置に特徴
- 527 K・熱可塑性樹脂使用時に用いるもの
- 527 L固化処理時の監視、制御
- 527 Zその他のもの
- 531 切断、破碎、粉碎〔解体を含む〕
- 531 A廃フィルタの処理〔気体処理用のものが対象〕
- 531 B・外枠を切離すもの
- 531 D切断減容
- 531 E・被処理物が特定されるもの
- 531 F・燃料関連炉心部材の切断
- 531 G・バーナブルポイズン集合体の切断

- 531 H・配管の切断
- 531 J装置に特徴
- 531 K・補助的装置
- 531 M破碎、粉碎
- 531 N・深冷破碎
- 531 Zその他のもの
- 535 ・・・・廃炉, コンクリートの,
- 535 A解体工法に特徴
- 535 B・作業環境を考慮した工法
- 535 C・解体位置、順序等に特徴
- 535 E装置に特徴
- 535 F・補助的装置に特徴
- 535 Zその他のもの
- 541 ・・・・圧縮減容
- 541 A特定廃棄物の圧縮減容
- 541 B・廃フィルターの圧縮減容
- 541 C・廃棄物収納済容器の圧縮減容
- 541 E装置に特徴
- 541 Zその他のもの
- 551 ・・・・熔融減容
- 551 A特定廃棄物の熔融減容
- 551 B・マイクロ波加熱によるもの
- 551 C・金属廃棄物の熔融減容
- 551 D・誘導加熱によるもの
- 551 E・エレクトロスラグ熔融法によるもの。
- 551 G被処理物の特定されない熔融減容
- 551 H・マイクロ波加熱によるもの
- 551 J・誘導加熱によるもの
- 551 K・バーナ、トーチを用いるもの
- 551 Zその他のもの
- 561 ・・・・化学薬品による溶解, 分解
- 561 A有機物の酸化分解
- 561 B・酸素含有気体による酸化
- 561 C・過酸化水素と触媒による酸化
- 561 D・硫酸と硝酸または窒素酸化物の併用による酸化
- 561 F溶解
- 561 Zその他のもの
- 571 ・・・・廃イオン交換樹脂の処理
- 571 A特定物質を共存させた固化処理
- 571 B吸着放射性核種の溶離
- 571 Cクラッドの分離
- 571 D両性樹脂の相互分離
- 571 E焼却
- 571 F熱分解
- 571 G湿式酸化
- 571 H脱水減容
- 571 Zその他のもの
- 581 ・・・・ペレット化〔廃液乾燥粉体のペレット化を含む〕
- 581 A造粒方法が特定化されているもの
- 581 B・加圧により造粒
- 581 C造粒バインダーの使用
- 581 D異なる廃棄物を混合造粒
- 581 E造粒装置の運転制御
- 581 F造粒後のペレットの後処理
- 581 Zその他のもの
- 9/32 ・・・・焼却によるもの
- A 焼却方法に特徴
- B ・マイクロ波、誘電加熱、通電加熱等特殊加熱手段の利用
- C ・燃焼排気の処理に特徴
- F 焼却装置に特徴
- G ・固体粒子を用いた焼却装置、例. 流動床、転動床〔B優先〕
- H 焼却対象物の投入、供給に関するもの
- J 焼却灰分の排出に関するもの
- K 焼却状態の監視、測定を行っているもの(制御を含む)
- Z その他のもの
- 9/34 ・・・・固体廃棄物処分
- A 水中処分(貯蔵を含む)
- B ・海洋放棄
- C 地下貯蔵
- E 非かん詰、包装状態での貯蔵時の補助部材
- Z その他のもの
- 9/36 ・・・・かん詰によるもの; 包装によるもの
- F 廃棄物の包装
- G 容器詰めされた廃棄物の再取り出し
- Z その他のもの
- 501 ・・・・収容容器の材質, 構造〔G21F5/00優先〕
- 501 A容器材料に特徴
- 501 B・ドラム缶の内外層材料に特徴
- 501 C蓋、密閉部分の構造に特徴
- 501 F多重容器構造
- 501 G移送、一時収納用容器構造
- 501 H容器の補助的細部構造
- 501 J耐衝撃性、放熱性を工夫した構造
- 501 Zその他のもの
- 511 ・・・・容器への充填, 充填後の処理
- 511 A充填装置
- 511 B・粉粒体の充填装置
- 511 C充填前の前処理、例. 選別
- 511 E容器へ固化剤と共に収納
- 511 F・先に充填した廃棄物に固化剤注入
- 511 G・容器内で固化剤と混合
- 511 H・固化剤が2段階以上充填されるもの
- 511 J・多重容器状態で収納
- 511 K・内部容器が透過性のもの
- 511 L充填後に加圧および/または加熱されるものの
- 511 Mガラス固化体の容器充填
- 511 P容器充填、収納状態の監視
- 511 Zその他のもの
- 521 ・・・・容器の蓋締め

521 A蓋締め装置
521 B・その補助装置
521 Zその他のもの
531 容器の施設内移送
531 Aコンベアでの移送
531 Bクレーンでの移送
531 C台車での移送
531 D移送用補助手段
531 Zその他のもの
541 貯蔵
541 A乾式貯蔵
541 B・筒状ピットに積重ね貯蔵
541 C・筒状ピットの細部
541 D・地下貯蔵
541 E・収納容器周囲層材料に特徴
541 H湿式貯蔵
541 M施設建造方法
541 Zその他のもの